

2020年12月18日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、アフリカ輸出入銀行向けESG投融資について ～アフリカ諸国に対する新型コロナウイルス感染症対策支援～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社(社長 副島 直樹)は、ESG投融資の一環として、アフリカ輸出入銀行(African Export-Import Bank)^(*)への投資(以下、「本投資」)を決定しましたのでお知らせいたします。

本投資は、アフリカ輸出入銀行向けの融資を原債権とするストラクチャード・ファイナンスです。原債権の元利払いに対して株式会社日本貿易保険が保険を提供しています。アフリカ輸出入銀行は、今般調達した資金をアフリカ諸国へのCOVID-19パンデミック対応の緊急資金等に充当する予定です。当社は本投資を通じて、アフリカ諸国の経済・金融・医療分野におけるCOVID-19による影響が緩和されることを期待しています。

<概要>

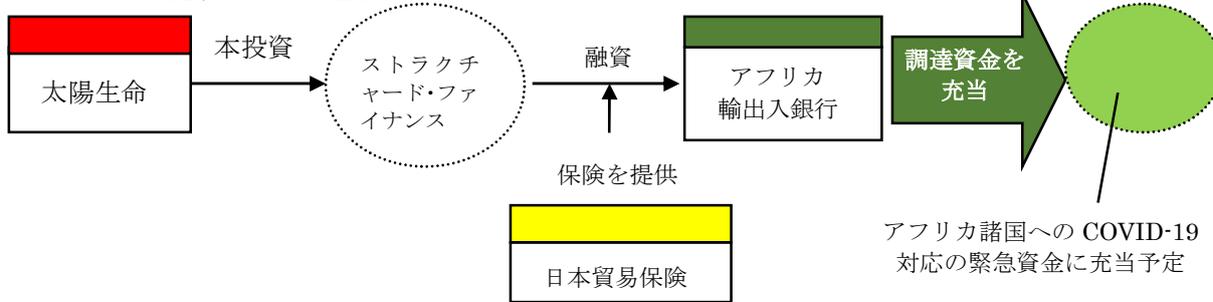
借入人：アフリカ輸出入銀行(African Export-Import Bank)

借入総額：520百万米ドル

償還期間：約10年

資金使途：アフリカ諸国へのCOVID-19パンデミック対応の緊急資金等に充当予定

スキーム：下記、イメージ図参照



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則(PRI)」^(*)に署名し、環境(E)、社会(S)、企業統治(G)の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以上

(*) アフリカ輸出入銀行は、1993年に設立されたアフリカ51カ国が加盟する地域開発金融機関で、アフリカ内外の貿易促進に向けた貿易金融や信用保証等を提供しております。

(*) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

